

○ 協働事業の概要

記入年月日 平成27年3月31日

事業名	地域でやりたいことを実現する 地域の居場所づくり事業(いきいき協働事業)
団体名	NPO 法人 Mystyle@こだいら
担当課名	市民協働
事業期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

① 地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

地域で居場所をつくりたいと考えていながらも、手法がわからず一歩踏み出せない人たちが対象の事業でした。

「まちの居場所づくりフォーラム」で、居場所が必要な背景や居場所の事例を知ることにより、居場所づくりへの関心を深め、「まちの居場所づくり実践講座」で、具体的に居場所を作り、運営していくための手法を学ぶという流れで進めてきました。

フォーラム及び講座の参加者はのべ144名。アンケートによる評価は100点満点で平均88.8点という高い評価を得ることができ、一定の成果を生むことができたと考えます。

また、講座参加者を対象に行った3か月後の後追い調査では12名からの回答が得られ、30.8%が具体的に居場所を運営しているほか、具体的に準備中・構想中を合わせると77.0%が何らかのアクションを起こしています。

②自らの団体の長所が、発揮出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開できましたか。)

NPO 設立以来、積み重ねてきた地域ネットワークにより、幅広い年齢層、立場の方たちの参加がありました。また、「地域でやりたいことを実現する」プロセスは、私たち NPO が試行錯誤しながら実現してきたことのノウハウの集大成であるとともに、「地域の居場所づくり」としては、当会が運営する創業支援の拠点、「ハタラゴ」の運営経験を活かすことで、講座等の内容もより実践に即したものになったのではないかと考えます。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

市の会場の手配や、広く市民の方たちに伝えるための市報への情報発信、市のイベントでのチラシ配布、調査報告書に使用するアンケートの配布・回収など、民間 NPO だけではできないサポートを数多くいただきました。また、フラットな立場で企画に際してアドバイスをいただき、運営ではともに会場設営や受付を担当くださるなど、ひとつのプロジェクトを保管しつつ、プロジェクトメンバーとして成功のために協力し合うことができました。

昨年度の課題であった情報共有の機会が少なかったことについては、昨年度に比較して積極的に設け、意思疎通を図りながら協働することができたと考えております。

④改善提案がありますか。

スケジュール管理を計画的に行うことで、さらにスムーズな協働が実現できると考えます。

自由記載欄

